

第267回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 令和5年4月27日(木) 午前11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ 本社 大会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 7名

委員長	小 松 豊
副委員長	そのだ つくし
委員	高 橋 惣兵衛
委員	佐 竹 雅 之
委員	和 田 俊 文
委員	石 川 健 正
委員	樋 口 知 志

欠席委員数 0名

会社側出席者名

常務取締役兼 事務局長	小 原 洋
----------------	-------

取締役 メディアビジネス 推進本部部長	三 浦 茂 樹
---------------------------	---------

報道制作部担当部長	吉田 幸弘
-----------	-------

事務局	波 岡 功
-----	-------

4. 議 題

(1) あいさつ

(2) 5月単発番組・3月視聴率・3月視聴者応答記録

(3) 合評課題について

合評課題：3月11日放送番組

①ANN報道特別番組「東日本大震災から12年～未来へつなげる～」

上記のうち城戸今日子アナウンサー中継部分（初めの方5分ほど）

②岩手・宮城・福島ANN3局共同制作「あすへの一歩～被災地が変える未来～」

放送日時：令和5年3月11日（土）

①14：30～15：30（城戸アナウンサーの中継部分は5分ほど）

②15：30～16：30

(4) 次回開催について

日 時：令和5年5月25日（木）午前11時～

場 所：岩手朝日テレビ 本社 大会議室

合評課題：「ほっとネットとうほく 挑戦の行く先～永井秀昭が追い求めた結末」

放送日時：令和5年3月26日（日）10：55～11：50

(5) その他

5. 概 要

- ・震災から12年。被災地が直面している新たな課題を伝える、完成度の高い中継だった
- ・伝えるテーマにふさわしい声のトーンや表情、しぐさで、東京のスタジオとのやり取りでも浮足立つことなく、とても落ち着いた中継だった
- ・避難タワーが建設されてしばらくしてから、日本海溝・千島海溝地震の新たな浸水想定が公表された問題について、もう少し掘り下げてもらいたかった
- ・復興状況について、各県ごとに4つの指標で伝えるコーナーでは、使う指標が各県ごとに異なっていたことが少し気になった